



尚徳福祉会日野保育園 2023年2月

寒さが厳しい2月ですが、早くも春の足音が聞こえています。「光の春」という言葉があります。ロシア語が由来で、徐々に日が長く、空が明るくなっていく2月という意味合いがあるそうです。先日のお散歩中に子どもたちは、「わあ、かわいい！」と歓声を上げて、公園のスイセンの花を見ながら、和やかな表情をしていました。冬から春へと変わっていく変化を楽しみ、明るい陽射しを浴びながら、外でたくさん遊びたいと思います。



鬼は外～♪福は内～♪

新年の集いで獅子舞に号泣のあさがお組でしたが、すぐに「今度は鬼来るよね」と思い出して早くもドキドキしてしまう子どもたちでした。「鬼をやっつけるために鬼より怖～いお面を作ろう!」とみんなで話し合い、帽子を作ることになりました。新聞紙で折った箱に画用紙で張り子をして、毛糸・型紙・画用紙・ボンドなど様々な材料を使って仕上げていきました。とっても根気のいる作業でしたが、一人一人のペースでゆっくり仕上げいき、力作がずらりと並びましたよ!「怖い鬼」のはずがあさがお組らしいなんともかわいらしい鬼たちでしたね。当日はひまわり組鬼の姿に「おもしろ～い」と余裕の表情でしたが、太鼓の音と共に現れた大人鬼に立ち向かっていく子や担任にしがみついて号泣の子も、みんなの頑張りでも無事鬼を退治できました!来年は鬼のパンツを履いて鬼役となります!みんなの姿に期待したいですね♡



☆氷できたよ☆

今年は寒～い1月でしたね。色々な形の容器に水を入れて、毎日、「できてるかな?」と様子を見ていました。ようやく氷ができると型から抜いて触ってみたり、お日様に照らしてみたりして「きれい～い♡」と目をキラキラさせていました。寒くて外に出ることのできない乳児さんたちに、氷を届けてあげて触らせてあげるやさしい姿もありました。2回目の氷作りは食紅で色を付けて、かき氷のような氷に喜ぶ子どもたちでした。まだまだ冬の遊びをたっぷり楽しんでいこうと思います!



《箸の持ち方》

鉛筆と同様、子どもたちに正しく持ってほしいお箸。意外にも、補助箸で食べることが出来ても、普通箸を持ってみると、不思議な持ち方になっていることがあるそうです。練習は普通箸から使うことをお勧めします。ご家庭で持ち方の確認をよろしくお願いたします。

